

|        |   |           |                    |       |                    |
|--------|---|-----------|--------------------|-------|--------------------|
| 学校教育目標 | 「たのしい わたしの学校」<br>ひびきあい ささえあい たかめあい<br>～創造性・感性・健康を育む教育の推進～ |           |                    |       |                    |
|        | ○よく考えて行動する子(知)  |           | ○心のやさしい子(徳)        |       |                    |
|        | ○心身の健康に向けて努力する子(体)  |           | ○みんなのためにがんばる子(公・開) |       |                    |
| 学校概要   | 創立 146 周年   | 学校長 菊池 幸博 | 副校長 鈴木 勝之          | 2 学期制 | 一般学級: 12 個別支援学級: 5 |
|        | 児童生徒数: 410 人 主な関係校: 釜利谷中学校/高舟台小学校/釜利谷南小学校                 |           |                    |       |                    |

| 教育課程全体で育成を目指す資質・能力  | 釜利谷中ブロック                    | 小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組  |
|---|-----------------------------|--|
| ○体験的な学習の中で他者と共同・協働しながら学習を進めるためのコミュニケーション能力<br>○めあてに向かい主体的に学習に取り組むための情報収集・活用能力 | 釜利谷中学校<br>釜利谷南小学校<br>高舟台小学校 | 集団の中でお互い認め合い高め合おうとする子ども<br>・人とのかわりを大切にしたい指導の研究<br>・重点研(算数)の中で～学び合いを通して、自分の考えを深める子～をテーマに定め、授業を通しての研究<br>・たて割り(異学年グループ)活動を生かした指導<br>・年間を通したあいさつ運動の取組 |

|  |
|--|
| <b>中期取組目標</b><br>○「チーム釜利谷」として全職員で子ども一人ひとりを大切に、信頼される学校にします。<br>・教師の授業力を高め、分かる授業を実践し、子どもどうしの学び合いを大切にしながら学力を向上させます。特に中高学年では一部教科担任制を導入し、様々な視点で子どもの学びをつくります。<br>・自分を大切に、友達を大切に、人とのかわりを大切にしながら互いのよさを認め合える子を育てます。<br>・健康な心身をつくるための生活習慣を形成し、進んで体力向上を目指そうとする態度を育てます。<br>・家庭・地域と連携を図り、豊かな体験を通して規範意識や感謝の気持ちを育てます。 |
|--|

| 重点取組分野                                | 具体的取組   |
|---------------------------------------|---|
| <b>確かな学力</b><br>担当 学力向上評価部            | ①発達段階に応じて、一部教科担任制や個別指導、TT形式、少人数指導等を効果的に組み合わせながら、発問・板書・発言の取り上げ方などを工夫することで、子どもたちの学習意欲を高め、学力向上につなげる。②算数の校内重点研究での授業づくりを通して、授業力の向上を図る。         |
| <b>豊かな心</b><br>担当 釜利谷委員会・特活部          | ①たて割り・ペア学年活動等を中心に、高学年には自覚・責任を促し、低学年にはモデルケースとして何年か先の自分はこうなりたいという意識をもたせる。②「にこにこ人権会議」を開き、いじめや暴力偏見や差別をなくし、安心して学校生活を送れるよう具体的手立てを実践していく。        |
| <b>健やかな体</b><br>担当 体育研究部              | ①体育学習では慣れの動きや主運動を重視し、運動量の確保に努める。②特色である「裏山」の開放や各種体育的集会を中心に運動の日常化を図る。③給食の残さを減らすことや栄養士による教室訪問等を通して、体づくりのための、食に関する意識を高める。                     |
| <b>児童指導</b><br>担当 釜利谷委員会              | ①「釜小ルール」による軸のぶれない教職員の一貫した児童指導を進め、安心して過ごせる教室、学校づくりを継続していく。②児童運営委員会やにこにこ人権会議を中心に、あいさつ運動を継続的に進めるとともに、保護者や地域の方々にも呼びかけを図る。                     |
| <b>特別支援教育</b><br>担当 特別支援コーディネーター      | ①配慮が必要な児童の個別の指導計画・教育支援計画を作成し、「釜利谷委員会」で共通理解し、関係機関とも連携を図り、指導・支援を行う。②より効果的な校内支援体制(特別支援教育部、学習サポート等)の構築を図る。③ユニバーサルデザインの視点に立ち、学習環境を整えていく。       |
| <b>地域連携</b><br>担当 各学年・教務会             | ①地域コーディネーターと連携協働を図り、地域の「材」(人・物・歴史文化)を生活科、総合的な学習の時間や横浜の時間に積極的に活用する。②学校や地域のボランティアの方々との協力を得ながら、学習面や環境整備面、情操教育等の充実を図る。③学校運営協議会の準備を進める。        |
| <b>安全管理</b><br>担当 保健安全部               | ①地震・火災・不審者侵入等、避難訓練や引き取り訓練は計画的に行い、実施後振り返りを行うことで改善を図る。②食物アレルギー児の対応を年度初めに全職員で研修し確認する。③施設設備や教室(1回/月)、通学路(適宜)等の安全点検を行う。                        |
| <b>不祥事防止</b><br>担当 教務会・管理職            | ①教務会や管理職主催の不祥事防止に関する研修会を、定期的に行い、様々な不祥事(体罰、不適切指導、個人情報漏洩等)に関する知見を高める。②ケーススタディー演習を通して、具体的な不祥事防止のための手立てや不祥事が起こってしまったときの正しい対応方法について学ぶ。         |
| <b>いじめへの対応</b><br>担当 釜利谷委員会・職員会議      | ①いじめが起こらないための学校風土づくりに研修の実施②いじめ早期発見のため、職員研修や児童への生活アンケート等を行う。専任が窓口になり、いつでも保護者や児童が相談できるよう周知を図る。③事案へは専任を中心に、学校いじめ防止対策委員会で迅速に組織的に対応する。         |
| <b>人材育成・組織運営(働き方改革)</b><br>担当 教務会・管理職 | ①不祥事防止、コンプライアンス、児童指導、危機管理対応能力等の校内研修を計画的に実施する。②「働き方改革」を意識し、各組織において具体的な業務改善を心がける。③教務会やメンターチームを組織し、授業改善や授業実践・実技研修等を計画的に実施し、学校全体としての授業力向上を図る。 |